



ローマの兵士たちが、イエスさまのおはかの入り口をふさぎ、見はっていますね。いまや、だれもおはかに入れないし、もちろん、出ることもできませんよ。

19



さて、これでこのおはなしは、おしまいか。もし、そうだったら、かなしいですね。いえいえ、おしまいじゃありません。神さまは、なにかすばらしいことを、してくださいます。じつは、イエスさまは死んだままでは、なかったのです。

20



その週のはじめの日です。あさはやく、イエスさまの使徒たちが、おはかへいってみると、あれあれ、まだにおいてあった石がありません。ちかくに、ころがついてます。そこで使徒たちは、おはかの中をのぞいてみました。イエスさまはどこでしょう。もういらっしやいせんね。

21



そのイエスさまのおはかのそばで、ひとりの女の人が、しくしく泣きつづけていますよ。そこに、だれかあらわれたようです。だれでしょうか。あつ、イエスさま！ イエスさまが、来られたのです。かの女は、大よろこび。みんなに、しらせなければ！ さいで、みんなのところまで走ります。「イエスさまは、生きていらっしやる！ 死からよみがえられたよ！」

22



いちばんはじめのイースター

それからすぐ、イエスさまは、使徒たちのところにいらっしやいました。そして、みんなにクギでうたれた手を、見せられました。ほんとうでしたね。イエスさまが、よみがえられたことは、「イエスなんて、知らないよ。」と、言っただペテロも、ゆるしてくださいました。みなさん、クリスマスの日、イエスさまは天国からこの地にきてくださいました。そしていま、天国へかえっていかれたのです。イエスさまは使徒たちに、このように言われましたよ。「すべての人に、わたしのことを伝えなさい。」

23

いちばんはじめの イースター
 神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。
 マタイによる福音書 26 章—28 章、
 ルカによる福音書 22 章—24 章、
 ヨハネによる福音書 13 章—21 章
 あなたの御ことばが開かれますと、光が与えられます。
 詩篇 119:130

文 Edward Hughes
 翻訳者 Yuko Kajiki
 絵 Janie Forest
 出版社 Lyn Doerksen
 60話の第54話
 M1914.org
 Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada
 許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

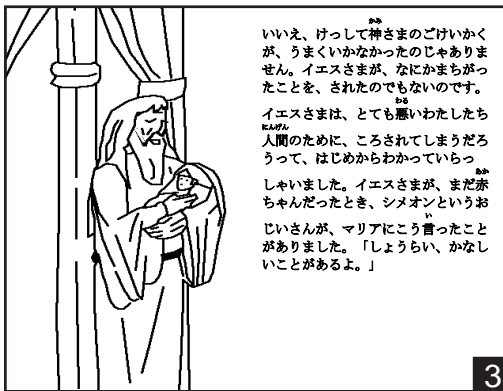
日本語 Japanese
 神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。
 神さまは、私たちをもとも愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くなることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。
 もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のところの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいらることができるのです。あなたの子として、生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン
 ヨハネによる福音書 3:16
 まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

そのおんなの人は、丘の上で、じっと立ったまま。たくさんの人があつまって、ザワザワしていますね。かの女の目は、なみだがいっぱい。おそろしいことが、おこっていると、ころを、じっと見あげています。かの女のむすこは、死にかけているのです。そう、おかあさんマリアは、そのちかかくで、むすこのイエスさまがクギでうたれた、十字架上にかけられているのを、じっと立って見ていました。



どうして、こんなことがおこったのでしょうか。どうして、すばらしい生き方をなされたイエスさまが、そのようなひどいおわりかたをされるのですか？
 どうして、神さまは、じぶんの子イエスさまが、十字架上でクギでうたれて、死んでしまったのでしょうか。言われたのでしょうか？ イエスさまは、自分がだれであるかを、まちがわれたのですか？ それとも、神さまのごけいがかくが、うまくいかなかったからでしょうか？

2



いいえ、^{おん} けてして神さまのごいかに
が、うまいかなかったのじゃありま
せん。イエスさまが、なにかまちがっ
たことを、されたのではないのです。
イエスさまは、とても悪いわたしたち
人間ののために、ころされてしまうだろ
うって、はじめからわかっていらっ
しゃいました。イエスさまが、まだ赤
ちゃんだったとき、シメオンというお
じいさんが、マリアにこう言ったこと
がありました。「しょうらい、かなし
いことがあるよ。」

3



イエスさまが、
ころされる何日かま
えのことです。ひとりの
女の人が、イエスさまの
足に、よいかおりのするこう
油を、ふりかけました。「えっ、
そんなことするなんて、
お金のむだだよ。」使徒たちは、
プツプツもんくを言いました。
そのとき、イエスさまは
言われました。「いや、この人はわ
たしに、よいことをしてくれただよ。
わたしが死んで、おほかに入るじゅんぴを、
してくれているのだ。」イエスさまは、
なんてへんなことを言われるのでしょうか！

4



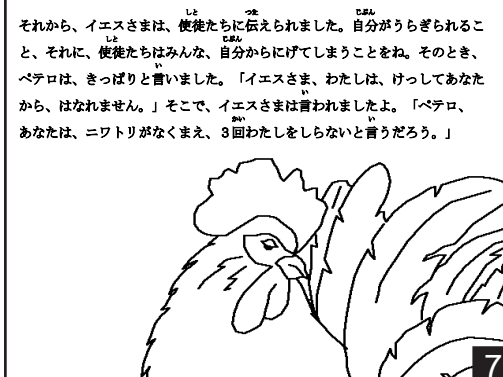
このあと、イエスさまの使徒の一人
ユダは、祭司長のいうとおりにして、
イエスさまをうらぎってしまいました。
そのかわり、ユダは、祭司長にぎんか
30まいをもらいましたよ。

5



さて、ユダヤ人のすぎこしまつりのときです。
イエスさまは、使徒たちといっしょに、さいご
のしょくじをされました。そこで、イエスさま
は、使徒たちに神さまのすばらしいさや、神さ
まを愛する人々へのやくそくについて、おはな
されしました。そして、イエスさまは、パンと
ぶどうしゅをとり、使徒たちに、わけあたえら
れました。これらのことは、イエスさまの体と
血によって、わたしたちの罪がゆるさ
れることを、使徒たち
に、おもいだしてもら
うためでした。

6



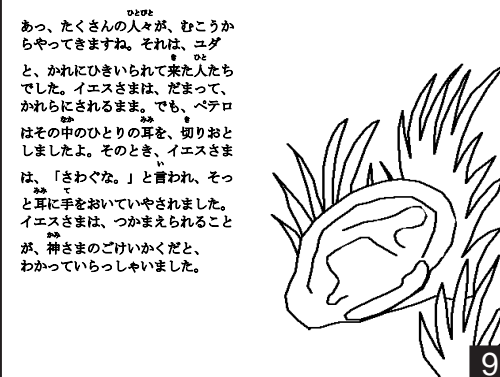
それから、イエスさまは、使徒たちに伝えられました。自分がうらぎられるこ
と、それに、使徒たちはみんな、自分からにげしてしまうことをね。そのとき、
ペテロは、きっぱりと言いました。「イエスさま、わたしは、けてしてあなた
から、はなれませんが。」そこで、イエスさまは言われましたよ。「ペテロ、
あなたは、ニワトリがなくまえ、3回わたしをしらないと言おうらう。」

7



そのよのおそく、イエスさまは、
グッセマホのにおへ、おいのりに
行かれました。おやおや、イエス
さまといっしょに、おいのりに
行った使徒たちは、ぐつすり
ねむってしまったようです。でも
イエスさまは、いのりつづけられ
ています。「・・・ああ、わたし
の父よ、もし、できることでした
ら、どうかこのさかすきを、わた
しからさげさせてください。
けれども、わたしのおもいでは
なく、みこころのままになさって
ください。」

8



あつ、たくさんの人々が、むこうか
らやってきますね。それは、ユダ
と、かれにひきいられて来た人たち
でした。イエスさまは、だまって、
かれらにされるまま。でも、ペテロ
はそれの中のひとりの耳を、切りおと
しましたよ。そのとき、イエスさま
は、「さむくな。」と言われ、そつ
と耳に手をのべていやすされました。
イエスさまは、つかまえられること
が、神さまのごいかにだと、
わかっていらっしゃいました。

9



人々は、イエスさまを、とてもえらい祭司のうちへつれて行きました。そこで、
ユダヤ人のリーダーたちは言いました。「イエスは、死ぬべきだ。」
さて、そのときペテロはどこにいた
でしょう。じつは、すぐ近くにいた
のですよ。祭司の召しつかいのた
きぎのそばに立ち、中のようすを
じっと見ていました。

10



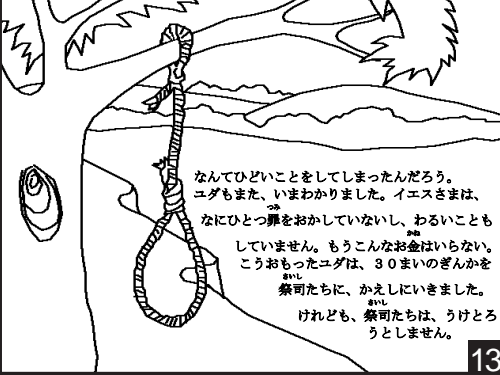
人々は、ペテロをじっと見つめて、「あれつ、おまえは、イエスといっしょに
いたじゃないか。」と、3回言いました。でも、ペテロは、そのた
びに言いました。「イエスなんて、
しらないよ。」ちょうど、イエ
スさまが言われていたように、ペテ
ロは、3回しらないつて言いま
したね。ペテロは、イエスさ
まを、のしるようなこ
とさえ言いましたよ。

11



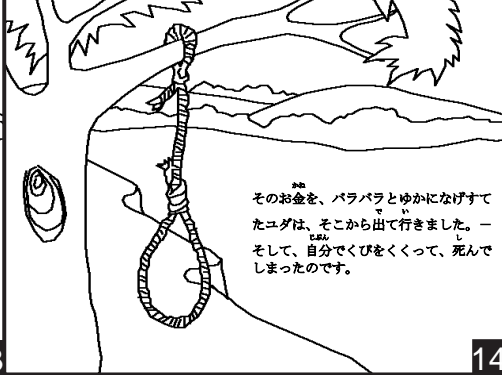
コケコッコー。ちょうどそのとき、
にわたりがなきました。そのこえは、
まるで神さまのこえのよう。イエス
さまの言われたとおりになりましたね。
イエスさまのことばをおもいだした
ペテロは、いつまでもいつまでも、
はげしく泣きつづけました。

12



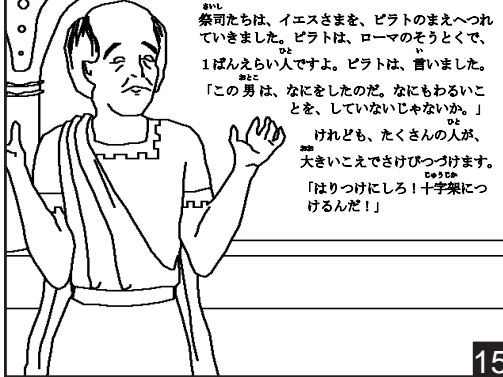
なんのひどいことをしてしまったらう。
ユダもまた、いまわかりました。イエスさまは、
なにひとつ罪をおかしていないし、わるいことも
していません。もうこんなお金はいら
ない。こうおもつたユダは、30まいのぎんかを
祭司長たちに、かえしにいきました。
けれども、祭司長たちは、うけとろ
うとしません。

13



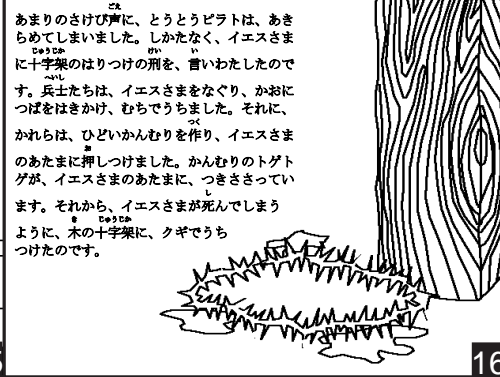
そのお金を、バラバラとゆかになげす
てユダは、そこから出て行きました。一
そして、自分でくをくって、死んで
しまったのです。

14



祭司長たちは、イエスさまを、ピラトのまえへつ
れていきました。ピラトは、ローマのそうとくで、
1ばんえらい人ですよ。ピラトは、言いました。
「この男は、なにをしたのだ。なにもわるいこ
とを、していないじゃないか。」
けれども、たくさんの方が、
大きいこえでさけびつづけます。
「はりつけにしろ！十字架につ
けるんだ！」

15



あまりのさけびに、とうとうピラトは、あき
らめてしまいました。しかたなく、イエスさま
に十字架のはりつけの刑を、言いわしたので
す。兵士たちは、イエスさまをなぐり、かおに
つばをはきかけ、むちでうちました。それに、
かれらは、ひどいかんむりを作り、イエスさま
のあたりに押しつけました。かんむりのトゲ
が、イエスさまのあたりに、つきささって
います。それから、イエスさまが死んでしま
うように、木の十字架に、クギでうち
つけたのです。

16



イエスさまは、ずつとまえから、自分はそのようにして死ぬことが、わかって
いらっしゃいました。それにまた、自分が死ぬことで、自分をしんじる罪人
が、ゆるされるようになることもね。ちょうどそのとき、わるいことをした
二人の罪人も、イエスさまのそばの十字架にかけ
られました。でも、そのうちの一人は、
イエスさまをしんじたのです。それで、
その人は、死んで天国へいきましたよ。
それじゃ、もう一人は？イエスさまをし
んじなかつたのです。それで、天国
へは、いきませんでした。

17



「なにもかもなしとげられた。」何じかかも苦し
れたあと、イエスさまは、こう言われました。
そして、ごくられたのです。これで、
イエスさまは、おしごとをすべて終
えられたのですね。そのあと、
イエスさまの友だちがやっ
てきて、イエスさまを自分
のおほかにうめましたよ。

18